

# うるま市勝連「比嘉区」

集落  
部門

自然の恵み!モズクと地域文化継承のふるさとづくり  
(平成22年度認定)



本集落がある浜比嘉島は、勝連半島より東に約4kmに位置し、平安座島と浜比嘉大橋で結ばれている。島は、面積2.45km<sup>2</sup>、周囲11.0kmの比較的起伏に富んだ形状である。

本集落の産業は、1980年代から始めたもずくの養殖が盛んであり、年間平均300t以上の水揚げを誇っている。また、集落住民の約2割が漁業に携わるなど、漁業を中心とした産業構造となっている。

集落内に、琉球神話の祖神である「シルミチュー」「アマミチュー」が祀られていることが有名であり、また、12年に1度、丑の年に行われる「ウフアシビ(大踊り)」など伝統文化の継承発展のほか、ハーリー・豊年祭・エイサー・環境美化活動など、地域活動も盛んである。これらの活動をとおしてユイマール精神の継承及び青少年の健全育成を図り【自然の恵み!モズクと地域文化継承のふるさとづくり】に取り組んでいる。

